

令和7年度グループホーム事業計画書

(グループホーム青葉町日和)

1 基本理念

共感と理解により信頼の輪を広げます。

2 事業指針

1. 私たちは、住み慣れた地域で「その人らしく」生活が続けられるよう支援します。
2. 私たちは、人権を尊重し、「その人らしく」権利として福祉が享受できるよう支援します。
3. 私たちは、専門性を向上させ、支援者としてスキルアップを常に目指します。
4. 私たちは、社会環境の変化による福祉事業の重要性を認識し、地域貢献に努めます。

3 利用者の処遇

権利を尊重し、尊敬を持って支援します。自立支援の観点から介護予防にも積極的に取り組みます。

4 健康管理

看護職・協力医等と連携し、利用者の健康を管理します。

5 防災計画

市区町村及び消防当局の指導に基づき防火管理者を選任し、定期的な防災訓練を実施します。

7 日課

グループホーム青葉町日和（一般例）	
6 : 0 0	起床
8 : 0 0	朝食 服薬 歯磨き
9 : 0 0	くつろぎ 日常生活動作訓練 個別活動
1 2 : 0 0	昼食 午睡、休息
1 4 : 0 0	レクレーション（集団）機能訓練（個別） 機能訓練（個別）
1 5 : 0 0	おやつ 談話 交流
1 6 : 0 0	入浴
1 8 : 0 0	夕食
2 1 : 0 0	就寝

8 令和7度における具体的取組（令和6年度経営状況より）

運営管理及び職員管理

- ・ 管理者、計画作成担当者は、「自立支援」を基本としたサービスを心掛け、ホーム内での生活を支援していきます。
- ・ 介護技術、チームワーク、資質向上のため、研修参加等を行います。
- ・ 職員定着及び離職防止に努めます（面談・研修・風通しの良い職場等）
- ・ 定期的な業務点検等を行い、改善に努めます。
- ・ 運営推進会議にて地域連携、情報共有を深め適切な運営につなげます。
- ・ ハラスメント対策を行い環境整備に努めます。

医療連携 感染症対策 身体拘束廃止 虐待防止に向けて

- ・ 協力医、訪問看護ステーションと連携を行い状態把握に努めます。
- ・ 流行期は面会制限、対策の強化を図ります。
- ・ 想定訓練を行い連携の構築、事業継続に努めます。
- ・ 身体拘束に関しては①切迫性②非代替性③一時性を厳密に検討し、定期的な委員会で協議を行い、身体拘束ゼロを目指します。
- ・ 高齢者の尊厳を守ります。

経営管理

平均登録者数	9名／9名	前年比＋1名
利用中止者	3名	前年比▲1名
新規受入	2名	前年比▲1名
平均介護度	要介護3	前年比±0
利用者単価	43万／1人	前年比＋1万
売上平均	380万／月	前年比＋40万

- ・ 居宅支援事業所、地域包括支援センター、医療相談室等を定期的に訪問し、空き情報の提供と利用者確保に努めます。
- ・ 空床期間は2週間を目途に安定経営を目指します。
- ・ 必要な加算取得を目指し体制整備を行います。
- ・ 予算管理を行い、増収増益を目指します。

生産性の向上

- ・ ムリ、ムダ、ムラを無くし、効率が上がるよう職場全体で取り組みを行います。
- ・ 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）活動を職場全体で取り組み、業務改善に努めます。

各種委員会の運営

- ・ 虐待防止委員会、感染症対策委員会、事故防止委員会を定期的に開催し、適切な事業運営に努めます。